



生育は昨年より7日程度進んでいます。(H27年並み) 生育が進んでいる本年は展葉後から一次感染が一気に拡大する恐れがあります。 ついては、黒星病早期の予防のため展葉後の薬剤散布を4/10までには完了してください。

りんご

◆ ふじ生育状況調査 (調査地点：平岡若宮)

年度	発芽	開花	満開
平年	4/4	5/1	5/3
H28	3/31	4/21	4/23
H29	4/7	5/2	5/5
H30	3/29	4/25	4/28頃

発芽は昨年比7日程度早い状況です。ただし、土壌乾燥による開花の不揃いが心配されます。ついては、各園の生育状況はよく確認し管理作業は適期に実施してください。

◆ ふじ開花予想

4/23頃(南部地帯)・4/25頃(平岡)・4/27頃(北部・高標地)

4月上旬の薬剤散布【展葉後】

散布時期：4月5～10日頃 *注意事項①参照

散布薬剤：水 100ℓ

展着剤 10ml

ユニックス顆粒水和剤47 100g *②参照

対象病虫害：黒星病・うどんこ病

10アール当り散布量：350ℓ

【注意事項】*必ずお読みください。

- ① 展葉2～3枚目頃を目安に散布する。
- ② ユニックス顆粒水和剤47に代えてトレノックスフロアブル500倍(30日前、5回)でもよい。
- ③ うどんこ病対策：4/10～15頃に(発芽10日後)にコロナフロアブル400倍を特別散布する。
- ④ 散布量は多めに設定する。

◆ 散布日：4月 日

◆ 散布量： ℓ

◆ 次回(開花期)の薬剤散布予定

ふじの開花期：4/22～28頃

【黒星病の発生生態と生活史】(長野県果樹指導指針より)

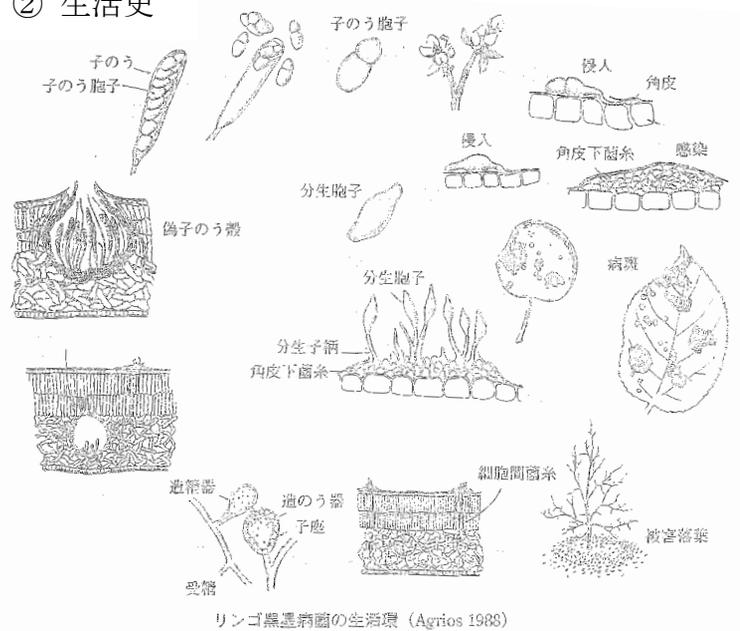
① 発生生態

本病菌は被害落葉・芽りん片・枝病斑で越冬するが、量的に重要なのは被害落葉である。被害落葉上では冬期間に偽子のう殻が形成され、早春に成熟し発芽期頃から子のう胞子が飛散して感染が始まる。子のう胞子の感染適温は15～20℃で、この温度での潜伏期間は約10日である。

一次感染は開花前後がピークとなり、落花20日後頃まで続き、その後は病斑上に形成された分生胞子により二次感染が続く。菌糸の発育適温は16～24℃で、分生胞子の発芽適温は15～25℃である。

感染の条件として降雨と密接な関係があり、雨が多い時また葉がぬれている時間が長い時に感染しやすい。温度10～20℃で感染しやすく1～2週間で病斑が現われる。

② 生活史



次頁もお読みください。

参考：黒星病防除のポイント

＊生育が早い年は早期感染リスクが高まります！ご注意ください！

- ① 4月上旬：ユニックス顆粒水和剤 1,000 倍 ⇒ 4/5～10 頃 ＊展葉 2～3 枚目安
- ② 4月下旬：オンリーワンF（黒星病多発園：スコア顆粒水和剤 3,000 倍）＋トレノックスF ⇒ 4/22～28 頃 ＊開花期
- ③ 5月上旬：アスパイア水和剤（黒星病多発園：スコアMZ水和剤 500 倍）⇒ 5/2～5 頃 ＊落花直後
- ④ 5月中旬：フルーツセイバー（黒星病多発園ユニックス顆粒水和剤 2,000 倍）⇒ 5/12～15 頃 ＊落花 10 日後

⊕ 上記の 4 回は間隔をあけず、雨が続く前に確実に実施してください。



↑被害葉 ⇒ これが病気のもと！

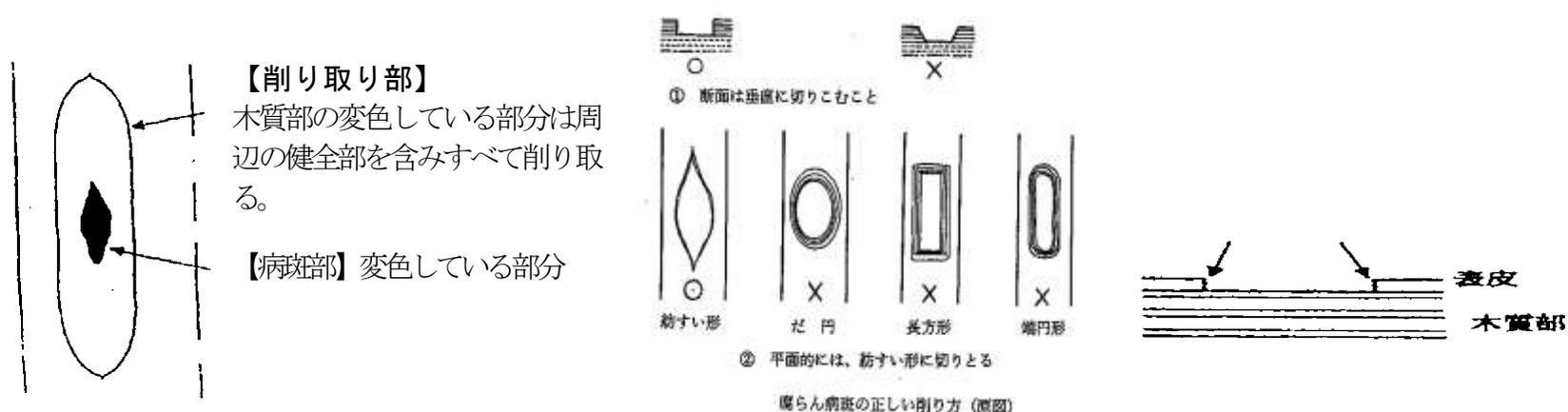


↑被害果 ⇒ がくあ部に大きな斑点

4月の重点管理作業

1. 腐らん病対策（本年も早期多発傾向です！病斑の削り取り・切除・感染予防に努めてください！）

腐らん病斑を見つけ次第、早めに粗皮削り等を行い感染拡大に努めてください。病斑を放置すると、梅雨の期間に蔓延します。早期発見・早期治療を徹底してください。詳しくは、腐らん病対策特報をお読みください。



2. 粗皮削り（カイガラムシ類・輪紋病対策）

カイガラムシ類の寄生が多い園では、5月に入る前に金ブラシ等で削り落とす作業を行い、密度抑制に努めてください。また、輪紋病（いぼ皮病）の罹病樹（枝）も多々散見されます。「いぼ皮」を見つけ次第、必ず粗皮ケズリを行い、輪紋病の発生源撲滅に努めてください。「いぼ皮」を放置すると、梅雨の期間に果実感染が拡大します。ご注意ください。

3. うどんこ病対策

近年蔓延中のうどんこ病は、4～5月が高温・少雨状態で感染が拡大します。被害芽は健全芽と比べると、発芽が約 10 日前後遅く、しまりのないボケ芽状態になっています。つがる、紅玉等のり病し易い品種では、被害芽（枝）の先刈りを徹底してください。そのまま放置しておくと、感染が進みますので、できるだけ早い時期に密度抑制対策を講じてください。また、薬剤予防として、4/10～15 頃（発芽 10 日後）にコロナフロアブル 400 倍等を特別散布してください。

4. ケムシ類（マイマイガ）対策

ケムシ類は若齢のうちに防除しておくことが重要です。開花前後の高温で急激に発生する恐れがあります。よって、ここ数年被害が大きかった園や街灯等が近くなる園では、下記の有効薬剤等を早めに散布してください。

- ◆ サムコルフロアブル 5,000 倍（ケムシ類・シンクイムシ類・ハマキムシ類に効果あり）
- ◆ フェニックスフロアブル 4,000 倍（ケムシ類・シンクイムシ類・ハマキムシ類に効果あり）